

平成二十六年年度「いじめ防止標語コンテスト」

○ 全国賞

いじめはね やめるじゃなくて はじめない

大町町立大口西小学校四年 林 明香里

「やめなよ」と なかなか言えない ぼくの口 ぼくが言わな

きや 何も変わらん

豊田市立朝日丘中学校一年 杉浦 幹太

○ 優秀賞

「だってさあ…」 いじめに理由をつけるなよ！

東海市立加木屋南小学校六年 田村 顕也

いじめの火 油じゃなくて 水かけて

岡崎市立福岡小学校六年 柴田 匠

やらないと 仲間になれない 「嘘の友」 やめようと 言え

る仲間は 「真の友」

豊橋市立前芝中学校三年 山川 昂大

みつけたら とめろよ 自分 やめろよ お前

清須市立春日中学校一年 成瀬 凌大

○ PTA推薦賞

返事して。むしするだけでも きずつくよ

瀬戸市立下品野小学校四年 鬼頭 愛咲

いじめはね 理由があっても やつちやだめ

江南市立草井小学校五年 村井 陽南

みているよ ぼくのこころのおまわりさん

日進市立東小学校一年 鈴木 雄勝

わたしはしない みんなが思えば だれもしない

豊山町立新栄小学校三年 鈴木 みつは

あのこやだ その一言は もっとやだ

大治町立大治小学校四年 木野 陽介

ことばはね はげます力もっている

大治町立大治小学校三年 小島 雄飛

いじめは、とめる。

半田市立乙川東小学校一年 おかだ こうき

流れにのるな 空気のにるな 一人の向かい風で いじめが無

くなる

大府市立北山小学校六年 古川 敦基

おとなから てほんみせてね いじめゼロ

岡崎市立梅園小学校一年 なかね りこ

いやだよね、「あっち行って」と言われたら

岡崎市立六ツ美北部小学校三年 高橋 麻侑里

やめてより やめなよの声を 増やしたい

豊田市立若林東小学校五年 早坂 菜那

悲しいな さみしいな 知らないのは 私だけ

安城市立桜林小学校四年 平林 京果

スマホないけれど 入れて欲しいな その会話。

安城市立桜林小学校六年 平林 穂乃果

もうやだよ おにばかりは つらいんだ。

知立市立知立西小学校一年 野々山 昇汰

きついことばで、はつとする。わたしは言わないようにしましょう。

みよし市立中部小学校二年 高瀬 晴日

「お前やれ」 命令するより 「おもいやれ」

稲沢市立稲沢中学校二年 玉置 万莉

気づいてる？ 「つくりワライ」という「叫び」

江南市立古知野中学校三年 匂坂 美緒

「助けて」の 心のメールを 受けとって

北名古屋市立西春中学校二年 大塚 惇司

「死ね」「うざい」 短い悪口 言えるのに 「やめな」 の
三文字なぜ言えない

津島市立藤浪中学校二年 安藤 香澄

いじめるな いじるな、たたくな、からかうな、

半田市立半田中学校一年 青山 弦

落書きを 涙で静かに 押し流す

常滑市立青海中学校三年 桑山 陽次

空気読む それより前に 心読め

常滑市立青海中学校二年 高橋 龍一

「人と違う」 同じだったら いやじゃない？

岡崎市立美川中学校一年 近藤 沙由理

いっしょにするのが友達じゃない、とめてくれるのが友達だ。

岡崎市立矢作中学校一年 清水 泰翔

LINEでね 影口打った その日から 友情のLINE(線)

二度と戻らず

西尾市立一色中学校一年 野田 堅真

なれちゃだめ いつもの風景 それは異常

西尾市立一色中学校三年 鈴木 佑基

お前ヤダ たいしてあなたと 変わりません

幸田町立北部中学校二年 新家 紀子

私は 気づいた。 私が 傷つけた。 私も 傷ついていた。

豊川市立南部中学校三年 池田 初乃